

より実践的で熱のこもった研修
内容となり、コーディネーター
活動へスイッチが入るような場
となりました。

第1回 教育支援コーディネーター・ミーティング（報告）

いま、あらためて“学習支援”の意味を考える

～「教育課程」を踏まえたコーディネートを目指して～

各地域で活動する教育支援コーディネーターのスキルアップとネットワークづくりのために、研修会「教育支援コーディネーター・ミーティング」を開催しています。

平成 24年度第1回の研修では、①「思考力の育成に向けた学習支援のあり方」について国立教育政策研究所初等中等教育研究部統括研究官である山森先生の話題提供をしていただき、それを踏まえて、②コーディネーターとして、外部資源を学校にどのように活用するか（先生に提案するか）について考えるため、一つの外部資源の事例を通して、授業案を提案するためのワークショップに取り組みました。



■開催日時、開催場所

6月28日（木） 14時～17時

国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟「第1ミーティングルーム」

■対象

教育支援コーディネーター（学校支援コーディネーター、地域コーディネーター）

区市町村学校支援地域本部事業担当者 等

■参加者

新宿区（1）、文京区（1）、江東区（1）、大田区（7）、世田谷区（3）、中野区（1）、杉並区（9）、板橋区（5）、八王子市（3）、調布市（1）、町田市（3）、小平市（4）、日野市（1）、東村山市（1）、福生市（1）、東大和市（1）
計43人

■テーマ

いま、あらためて“学習支援”の意味を考える

～「教育課程」を踏まえたコーディネートを目指して～

■プログラム内容

◆「話題提供」

【話題提供者】 山森 光陽 先生（国立教育政策研究所初等中等教育研究部総括研究官）

国立教育政策研究所の山森先生に、「思考力の育成に向けた学習支援のあり方」と題して、

○学校にかかわるということ

○なぜ思考力を育てなければいけないのか

○そのために、コーディネーターのみなさんに、どういうことに気をつけて学校の先生と一緒に授業づくりをしていただきたいかの柱でお話いただきました。



学校との関係づくりという点では、「教育課程を大事にしな
がら、その実現のために、どうしたらよいかということをし
っくりと考える」ことや、「最初は、学校の下働きのなかかわ
りであっても、そこから関係づくりをしていくことで、だんだ
んと道は開けてくる」ということ。

また、これからは、「新たな価値や知識を創造する人」を育
てていかなければならない。そのためには、「思考力の育成」
が必要。

評価基準も使いながら、授業後に子供がどういう姿になって
いるかを見据えつつ、先生や外部講師（外部資源）やコーデ
ィネーターの三者で、ゴールのイメージを共有化できるよう議論しておく必要がある。

等について、伝えていただきました。

◆グループワーク

【特別ゲスト（ワークショップ 協力）】 澤村 優子さん（ハーゲンダッツ ジャパン株式会社 総務人事部）

後半は、山森先生のお話を受けて、小・中学校それぞれ小グループに分かれ、アイスクリームのメーカーが実際に行なっている出前授業を題材として、この出前授業を学校で実施するとした場合の授業案について話し合っ、学校の先生に提案していくことを想定したワークショップに取り組みました。

今回の研修では、出前授業を実践している担当者の方から出前授業の趣旨・思い等についてお話いただき、実際の商品も活用しながら、参加者にとって、よりイメージのしやすい授業案づくりのワークとなりました。



【グループのワークシートより】（先生にどのような提案をするか？）

- アイスを通じて、世界のなかの日本の役割について授業する
- 世界の食文化を知る
- 県別特産品（農水産物）の理解や活用を考える
- 消費者教育をテーマとして提案
- 職場体験（グローバルな視点のキャリア教育）
- 発想力を育てていく

◆山森先生のまとめ（質疑応答も含む）

○パワーポイント・黒板の使い方

パワーポイントや黒板（板書）は、ポイントを絞って示した方が効果的。

（要所要所しか書いてなくても、その前後の情報は子供が自分で頭でつないでいく。つなぐのは子供の仕事で、つなぐ材料を確実に出してあげるといふふうにしたほうがいい。

○実物の強み

実際に実物があるとイメージが付きやすい。

しかも、企業の方から、商品に関してのこだわりの話を聞くと腑におちてくる。そういった、企業の人を思いを学校向けにアレンジするのが、コーディネーターの役割なのではないか。

■参加者の感想より

（１）話題提供について

- ・とてもわかりやすかったです。学校のことが更に理解できました。
- ・つなぐ心とダメなものを持込まないことの大切さを知りました。
- ・内容が濃くて初心者には大変でしたが基本的なポイント（学習要領ポイント等）を学ぶことができました。
- ・評価規準を参考にできましたので、今後活かしていきたいと思います。

（２）グループワークについて

- ・異なる立場、地域の方々との意見交換ができたことは視野が広がりました。
- ・お互い色々な立場での授業提案ができました。
- ・学習意欲をそそる企画づくりができました。
- ・意見が広がり、しぼりこむワークもすごくスムーズでした。やわらかい発想で話し合いができ、楽しいアイデアがでました。